

会議名称：平成27年度2月期古賀市社会教育委員の会議

日時：平成28年2月22日（月） 19時～21時

場所：リーパスプラザ研修棟103

主な議題：①「第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

②『家庭』と『地域』のそれぞれの課題について（グループ討議）

傍聴者数：1名

出席者：松本議長、加藤委員、平島委員、船越委員、角森委員、
國友委員、佐々木委員、松末委員、安武委員、横大路委員
（以上委員10名）

安部生涯学習推進課長、野田、幸野

欠席者：なし

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ

②「第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい」全体構成について（案）

③平成27年度1月期社会教育委員の会議グループ討議ノート

④古賀市生涯学習センター条例施行規則概要

⑤古賀市生涯学習センター条例施行規則

⑥古賀市社会教育施設使用料減額団体登録要綱

会議内容：以下のとおり

松本議長：

みなさん、こんばんは。ただいまから2月期の古賀市社会教育委員の会議を始めます。

角森委員と横大路委員が仕事のため、遅れられるとのことですが。

本日は傍聴者が1名いらっしゃっていますが、皆さんよろしいでしょうか。

（意見なし）

松本議長：

特に意見はないようですので、よろしく願います。

2月20日に加藤委員からご紹介を受けた『みんなの学校』を見に行ったら委員もいらっしゃるかと思いますが、大盛況でチケットも完売し、他市町の方も見にこられたようです。私も見に行かせていただいたんですが、不登校の生徒や学校になじまなかった児童を受け入れるためには、まずは職員が受け入れてやっていかないとはいませんが、そういった職員の後姿を見て子どもたちが育っていき、最終的には校長を見て職員が育っていく、そういった学校のトップリーダーの後姿を見て子どもも職員も保護者も理解を得ていく。なかなか難しいと思いますが、本当にいい映画でしたね。

國友委員：

地域の方もすごいですよね。「そういった教育をされたら自分の子どもの勉強の邪魔になる」といったような意見が出てきそうですけどね。

松本議長：

地域の理解を地道に校長先生が得ていったのだと思います。また校長自身がジャージ姿になり、子どもたちに面と向っていることで、子どもたちへの向き合い方を職員に示しているのだと思います。

それでは、本日の協議事項に入りたいと思います。

協議事項(1)『第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい』について、宿題にしておりましたアトラクションと実践報告の団体について2団体ずつ推薦していただきたいと思います。

まずはアトラクションの団体について、推薦理由も一緒をお願いします。

私からは、消防団の『火消し節』。理由としては、消防の出初式で見る機会がありますがその他にはなく、古賀市を防いでいただいているので皆さんに紹介したいと思います。もう1つは、『古賀キッズプラス』です。いろいろなところに出てはいますが、指導者が代わられて、子どもたちの人数も減ってきたということで、メンバーを増やすためにも出ていただきたいと思います。過去2回のつどいも第1回目は『レディ』、第2回目は『D o u b l e D』と、子どもさんたちの発表がありましたので、今回もジュニアの発表をしていただきたいと思います。

國友委員：

私は、『火消し節』と『青柳雅楽』です。理由は単純に自分が「見たい・聞きたい」だけです。

松末委員：

私も『火消し節』を聞いてみたいです。地域を支えてくれる消防団の方の活動を、火を消す場面ではない場面で見たいと思いました。もうひとつは、イメージは自分の中でうまくできないんですが、『絵本の読み聞かせ』を小中学生のリーディングリーダーにやってもらう。公民館の大ホールでは難しいかと思うんですが、第3回目は小さい会場で行うということで、可能なんじゃないかと思います。

安武委員：

1つ目は、『井口^{いのくち}バンド』といって、社会福祉協議会にボランティア登録をされている団体なんですが、老人施設や地域の行事で活躍されていて、懐メロや最近の歌を取り入れながら明るく演奏して下さるので、ぜひ活動の場を提供したいということで、推薦したいと思います。もうひとつは庄北区の子どもの活動で『元氣組』です。“よさこい”の活動をしていて、社会福祉協議会のボランティア交流会で披露してもらうんですが、大人の“よさこい”をみることはあっても、子どもの“よさこい”の活動はなかなかないのでいいかな、と思いました。

横大路委員：

沖縄の蛇皮線をしている『おやじバンド』がいいかなと思いました。でも、あちらこちらで活動されているのでどうか、と思いました。知っているのはそのくらいです。

佐々木委員：

1つ目は、小・中学生のリーディングリーダーの発表です。2つ目なんですが、“博多仁和加”は大人の方がされているのでしょうか。

平島委員：

『半面会』さんは大人の団体です。

佐々木委員：

リーディングリーダーで本や言葉遊びのようなものをするとしたら、“子ども版”と“大人版”、といったような感じでいいのではないかと思います。

船越委員：

私も大人と子どもの団体がいいのではないかと思います、『古賀キッズプラス』と『火消し節』がいいのではないかと思います。

加藤委員：

私は『火消し節』を聞いたこともなかったので、聞いてみたいと思いました。もう1つはCOSMOXで活動している若者のバンドで出演できるような高校生がいれば、お願いしたいと思いました。そうでなければ『古賀キッズプラス』と思っています。活動は少なくなったようですが。

船越委員：

定期演奏会などはやっておられるようです。今年は3月21日に行われるようです。

平島委員：

大ホールで行うことで考えてしまいましたが、『コールコスモス』といって、花鶴小学校で高齢者と地域の方が一緒にやっておられるもので、以前も候補に挙げたこともあるかと思います。その他は、見たことがないので『火消し節』です。そして先日、『古賀竟成館高校のチアリーディングチーム』を見て、なかなか素晴らしいと思いました。しかし、今回の会場の天井が低いので、難しいかなと思います。

松本議長：

『チアリーディング部』は11月に行われた西っ子まつりにも来ていただきました。すごいですよね。

『コールコスモス』も人数の調整ができれば、お願いできるのではないかと思います。

事務局：

角森委員からは、『火消し節』というご意見をいただいております。

松本議長：

では、『火消し節』はすでに推薦の委員が7名ですので、『火消し節』を除いた10団体の中から、自分の意見から離れていただいて結構ですので、いいと思われるものを2団体選んでください。

その前に、団体について何か質問はありませんか。

加藤委員：

『青柳雅楽』について、もっと詳しくお願いします。

横大路委員：

“稚児行列”のときに、先導して演奏しています。

加藤委員：

子どもも演奏していますか。

横大路委員：

演奏は大人だけです。

事務局：

関係者に聞いたところ、5、6人の大人でやっていて、先ほど横大路委員が言われたように、青柳放生会のときは、笛や太鼓を演奏しながらお神輿を担いで本殿から出発する「おくだり」の列の後に稚児行列で続くようです。演奏は大人のみです。

國友委員：

『火消し節』は前回のつどいの際は、出演自体が難しかったということでしたが、今回は大丈夫ですか。

事務局：

事前に関係者に聞いてみましたが、「出演するということになれば、4月に交代する分団長に早めに『火消し節』を習ってもらって、消防分団長の参加行事として組み込む」、ということでしたので、今年は問題ありません。

松本議長：

他に質問もないようですので、2つ団体を選んで、挙手をお願いします。

(挙手の結果、『火消し節』、『古賀キッズブラス』、『古賀竟成館高校チアリーディング部』、『小・中学校リーディングリーダー読み聞かせ』の団体に出演交渉することが決定)

松本議長：

実践報告の団体ですが、私は、古賀東中学校の「朝勉&朝弁」、理由としては、先日の子育てフォーラムで報告を聞きましたが、今の子どもたちの貧困化や基本的な生活習慣の向上などを学校と地域、ボランティアの方が垣根を越えて力を合わせていました。いろいろなところでも発表されたようですが、2回目でも3回目でも聞きごたえのあるよい内容かと思います。もう一つは、3月に地域情報交流会で伺う『古賀東校区コミュニティ協議会の放課後子ども広場』です。昨年は古賀西校区の発表だったので、今回は古賀東校区の発表ということでいいと思います。

平島委員：

青柳小学校の100kmキャラバンの内容をテレビで見て、実際に協力されている方は大変だろうなと思って、その内容を聞きたいなと思います。もう一つは、『古賀市商工会青年部』の方がいろいろな活動をされているので、もっとアピールをしてもらう場としていいのではないかと思います。

國友委員：

私も『青柳小学校の100kmキャラバン』です。私が東小のPTA会長をやっていたときから始めていて、そろそろ苦労話を聞いてみたいと思います。前回の会議の資料の中に『おやじの会』も載っていて、子どもたちのためにおやじたちが集まっているとやっているので、その辺りを抱き合わせて発表してもらいたいと思います。古賀東小学校の『放課後子ども広場』は立ち上げたばかりで、前回の資料に『市の子ども体験広場』とありますが、順調に運営されているのでしょうか。

船越委員：

『子ども体験広場』は係名のようなもので、子どもを集めての広場、アンビシャス広場といったものではないです。役所の中のもので、地域の方の実践ということではないので、『笑顔のつどい』の発表には向かないかと思います。

國友委員：

ということであれば、私も1回聞いたんですが、古賀東中学校の『朝勉&朝弁』は素晴らしい活動なので、青柳小と古賀東中学校の2つがいいと思います。

松末委員：

私も『朝勉&朝弁』と『ミニミニ塾』をセットで聞きたいと思います。もう一つは、校区のバランスを考えるとだめだとは思いますが、『青柳小学校の100kmキャラバン』です。長男の小学校の担任の先生が、『青柳小学校の100kmキャラバン』が始まった時の先生で、そのエネルギーを千鳥小学校でも発揮してくださり、うちの子たちも育ったので、おもとの青柳小学校の話聞いてみたいと思いました。

安武委員：

私は『小竹区の子育てサークル』です。各地域の子育てサークルや福祉会は単独でそれぞれ活動をやっておられますが、地域は“幼”と“老”が共に生活をしていて、小竹区の子育てサークルは地域の高齢者にも声をかけて、交流を持って地域を盛り上げていこうという活動をされていて、福祉会と協働して、地域の高齢者と子どもたちの居場所作りを行っています。私が把握しているのは小竹区だけですが、この様な活動が全体に広がっていったらいいなと思います。

横大路委員：

私は先日の会議の資料から、自分の知らないことを聞いてみたいと思って、『I P P O』を聞いてみたいと思いました。

佐々木委員：

私は『古賀東校区コミュニティ協議会の放課後子ども広場』です。先ほどまだ整っていないというお話でしたが、立ち上げのいきさつや、今現在うまくいっていないところも、今から行おうとする人にとっては勉強になるのではないかと思います。もう一つは『まんま実~や』です。農業婦人部がどんな活動をされているのか、『朝勉&朝弁』での地域と学校との連携を含めて、地域側からのお話も聞いてみたいと思います。

船越委員：

私も古賀東中学校の『朝勉&朝弁』です。古賀市内ではないところで何度かお話を聞いていますが、古賀市の方がご存知だろうか、ぜひ古賀市の方にもたくさん聞いてもらいたいと思いました。もう一つは、「広報こが」に花見小学校区の

子育てサークルが載っていて、前回の資料にも『花見東1区の子育てサークル』が載っていてこれのことかなと思いましたが、乳幼児の子育てサークルと地域の高齢者の交流ということで、先ほどの安武委員の小竹か花見のどちらかの子育てサークルに発表してほしいなと思います。

加藤委員：

私は、『緑のまちづくりの会議』の話を聞いてみたいと思います。大変な事業をボランティア精神旺盛に行われているので、地縁ではなく古賀市全体の会員が志縁で集まっています。あとは福祉の団体がいいなと思っているんですが、あまりよくわからないので『朗読ボランティア・カナリヤ』か『NPO法人コスモキャンパス』がいいかと思います。

事務局：

角森委員からは、『朝勉&朝弁』ということで意見をお預かりしています。

松本議長：

実践報告は3団体ということですが、一つは『朝勉&朝弁』に決定してもよろしいですか。古賀市の皆さんに見ていただいて、広げていただきたいと思います。

あと2団体ですが、実践報告は数だけで決めるということではできないと思いますので、校区や同じような種類でないものということで考えていきたいと思います。

事務局：

『青柳小学校の100kmキャラバン』ですが、見事な効果のある教育活動だと思います。ただ、学校の取り組みで、学校が支援が必要ときに保護者や地域に協力を求めている、そういった意味では保護者や地域のバックアップがありますが、あくまでも学校行事の一環で、確かに特徴的で素晴らしい教育活動なので市民の皆さんに知っていただくといいかと思いますが、『笑顔のつどい』の趣旨から考えると、ちょっとそぐわないかもしれません。

『I P P O』も確認をしたら市の事業で、初めての子育てのお母さんに市が募集しているものになりますので、『笑顔のつどい』の内容ではないかな、と思います。

松本議長：

2つの事業の中身はそれぞれ素晴らしいんですが、学校行事と市の事業ということでははずしたいと思いますが皆さんよろしいでしょうか。

(意見なし)

事務局：

『緑のまちづくりの会』が候補に入っていますが、前回のつどいにおいても、校区コミュニティや谷山など“地縁”の取組が中心になっていて、これらはとても素晴らしい地域活動だと思うんですが、これからは地域の活動と、あるテーマに特化したところで取り組んでおられる団体が、うまく交流ができ理解しあう機会があればいいなと思っています。『緑のまちづくりの会』はつい先日、福岡県主催の「ふくおか地域フォーラム」でも表彰を受けていて、私もいいかなあと思っています。

國友委員：

古賀市全体で活動されているんですか。

加藤委員：

グリーンパークの植樹をしたことが一番大きいかと思います。

事務局：

市立図書館の横の歩道にお花を植えておられます。

松本議長：

児童センターもボランティアでお花を植えてもらっています。

國友委員：

会員も多いんですか。

加藤委員：

30名くらいいっしょにしてみたいです。

代表の宿理さんはとてもハキハキと理路整然と話をされて、聞きやすいです。

事務局：

発表者についても団体選定の観点ですよ。

加藤委員：

どう伝えるかはとても大切だと思います。

國友委員：

先ほど言われましたが、古賀東中学校の『朝勉&朝弁』をするのであれば、もう一つは団体というか、校区の縛りなしで『商工会青年部』や『緑のまちづくりの会』などの発表がいいのではないかと思います。

松本議長：

『緑のまちづくりの会』がいいのではないかという声がありましたが、候補に入れてもよろしいですか。

環境づくりに貢献していただいている志縁団体ということで、実践報告の内容としては『朝勉&朝弁』と別の内容ということで、みなさんよろしいですか。

その他に推薦はありませんか。人数的には『古賀東校区コミュニティ』が2人の委員が推薦されています。

内容としては、“校区コミュニティ”全体になるのでしょうか。それとも“子ども放課後広場”に特化したものになるのでしょうか。発表は今年度の『古賀西校区コミュニティ運営協議会』のようになりますかね。

事務局：

こちらからの依頼次第になると思います。

昨年のつどいでは分館長・分館主事にたくさん参加いただいでいて、アンケート結果では大多数の方が「大変よかった」「よかった」という評価でした。コミュニティ協議会の発表も、大きく地域づくりの取組という点からすれば、大変参考になるものだと思いますし、できれば他のコミュニティも参考にしてほしいと思っています。

加藤委員：

『古賀東校区コミュニティ協議会』は、防災訓練もされていましたよね。

國友委員：

市や粕屋北部消防本部にご協力いただいてやっていて4、5回目になります。

加藤委員：

「防災」というキーワードもありかと思います。

松末委員：

校区コミュニティの全体の活動ということで、紹介いただいたほうがいいのかと思います。

加藤委員：

一般の活動の中で特徴的なものを紹介していただいたほうがいいのかと思います。

松本議長：

それでは、『朝勉&朝弁』、『緑のまちづくりの会』、『古賀東校区コミュニティ協議会』の3団体で皆さんよろしいですか。

(意見なし)

『笑顔のつどい』について追加資料が出ていますので、事務局からお願いします。

事務局：

それでは、『第3回生涯学習笑顔のつどい』全体構成について(案)をご覧ください。

前回から変更になったところに網掛けをしています。

まず実践報告について、先ほどもありましたように発表は3団体、それぞれの持ち時間を10分ずつとしていましたが、活動の内容を皆さんに紹介するには、10分では足りないのではないかとということで、それぞれ15分に変更します。その後の意見交換を20分、助言者まとめを15分としておりましたが、団体を5分ずつ伸ばしていますので間延びしないよう、意見交換と助言者まとめを1つにして5分短縮し30分。助言者については、正式にはお願いしていませんが、本年度と同様に黒田館長をお願いしたいと考えています。

前回の会議では所要時間を1時間45分としておりましたが、変更後は1時間54分となります。

資料に『今後の会議の予定』ということで添付しておりますが、3月中に出演団体に交渉し、4月の会議では出演団体の決定、そしてサブテーマや構成などを決めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

松本議長：

それでは「協議事項(2)のグループ討議」に移りたいと思います。まずは、2部資料をお配りしておりますのでご覧下さい。

1つは、平成28年1月20日に社教センターで行われた『みんなで育もう！ふくおか子ども育成支援フォーラム』の資料になります。NPO法人などの団体が紹介されていますので、参考にさせていただきたいと思います。

もう1つは『九州大学研究室（子どもの居場所）「きんしゃいキャンパス」視察報告』ということで、船越委員と2月19日に視察に行きまして、参考資料として簡単にまとめています。場所は福岡市東区の箱崎商店街で10何年か前に始められたようです。当初は九州大学教育学部の研究所として空き店舗を借用していたそうですが、地域の子どもたちがだんだん来るようになり、現在は地域における放課後の子どもの居場所として機能しているようです。開設時間は平日の午後4時から午後5時までで、実際は5時半から5時45分くらいまでで弾力的に運用しているということです。1年間を通して月曜から金曜まで、長期休暇も関係ないようです。土日はスタッフの負担を考慮して閉館しているようです。

スタッフは九州大学の教育学部の学生を中心として当番制でやっているようで、当日は福岡大学の学生もいました。資金は当初は研究室の寄付や手出しをしていたということでしたが、現在は福岡市の助成金が出ていて、光熱費や家賃に使っているようです。助成金をもらった当初は家賃に使ってはいけないという条例があって、4年前くらいに認められるようになったということでした。運営は時刻だけ決めて、後は自由に子どもたちが来ているということでした。「そこに行けば必ずスタッフがいる、子どもがいる」ということで、そこを中心に近くの公園で遊んだり、道路で遊んだりしていました。人数は4、5人から多い時で30人になるということでした。地域からは非常に認知され、信頼されていて、保護者も安心して送り出しているようです。私たちが伺ったときも、道行く人が声をかけていて、昭和の商店街のような感じでした。誰でもウェルカムということで、信頼されている理由の一つにボランティアの学生が、そこは箱崎小学校区にあたるんですが、運動会やフェスタなどにボランティアとして協力しているようで、子ども、保護者、先生たちによく知られていて、「face to face」の関係ができていました。

「苦情や要望が出ますか」と尋ねたら、近くのマンションの方が夜勤勤務で、「もう少し静かにしてもらえませんか」と言われたことがあるようです。大きなトラブルはないようです。午後1時から5時までは商店街全体が車の進入はできなくなっていて、利用している商店は6畳から8畳くらいの広さで、そこで本を読んだり遊び道具を外に持ち出したりして遊んでいました。今話題になっている“子どもの居場所”や“子ども食堂”など、シャッター街や空き家の商店街の活用の参考になるのではないかと思います。

本当に自然体で、「来るならきんしゃい」、子どもたちも「来たい」と、自然体で肩に力をいれずに、自然に集まって自然に解散して、来ないときは来ない、といった居場所になっていました。

船越委員：

松本議長がおっしゃったように、登録制でもなんでもないので、子どもが自然に来て自然に帰る。「誰が来た」とか「誰が帰った」とかチェックもなく、居場所をつくろうとなると決まりを作ったり「安全はどうするんだ」といった縛りが出てきますが、そういったことがまったくない、本当に自由な場所でした。隣の店はシャッターがしまったまま、もう1つは普通に八百屋を営まれていて、古賀にもできたらいいなと思いました。

加藤委員：

子どもたちは、1回家に帰っているんですか。

船越委員：

基本は帰ってから来るようになりますが、そのまま来ている子もいました。だからと言って、「ランドセル置いてから来なさい」というわけでもなく、お家の方もそれで理解されているところがあるようです。

安武委員：

スタッフは大学生となっていますが、近辺の住民の方も関わったりされているんですか。

船越委員：

特別に見守りの中には入っていません。カギを開けて学生が常駐しているけど、何をどう関わるということもなく、町の人も声をかけたりだとか立ち話をしたりということはあるんですが、子どもたちの遊び場だけで、普通に子どもたちが生活をしています。

松末委員：

受け入れるということが、参加するということなんですよ。

國友委員：

1時間から1時間45分くらいの時間なんですね。

船越委員：

そうです。毎日ということがいいのかな、と思います。

國友委員：

九州大学のキャンパスが移転しますが、今後も続けていかれるんですよ。

横大路委員：

九州大学が平成31年には完全移転しますので、学生がいなくなっても地域の方の支援で続けられるかどうかですよ。

松本議長：

九州大学教育学部で心理学を専攻している学生が多かったです。箱崎小学校を卒業した中学生や高校生も来ていましたし、福岡大学の学生も来ていました。移転した後も地域で支えられるかですね。

横大路委員：

かなり学校から遠くなるので九州大学の学生はあまり来られなくなると思います。あとはこの子どもたちが大きくなって、学生になってきてくれるようになると、地域の中で動いていくかもしれないですよ。

松末委員：

それが理想ですよ。

松本議長：

無料ではなく、家賃や光熱費も発生しています。

船越委員：

助成金もありますが、それを自分たちで負担されていることがすごいと思います。

松本議長：

みなさんも提供する情報があれば紹介をお願いします。

では、グループ討議に入りたいと思います。

(グループ討議)

松本議長：

今日はグループ討議に時間があまりとれず、十分な審議ができなくて申し訳ありません。

では報告事項にうつります。「報告事項(1)(2)」について事務局からお願いします。

(事務局より「報告事項(1)『生涯学習センター条例施行規則』及び『社会教育施設使用料減額団体登録制度』について」、
「(2)地域情報交流会」について説明)

松本議長：

「報告事項(1)」について、なにかありましたら次回の会議にでもご質問ください。「報告事項(2)」についても、1時間、古賀東校区コミュニティ協議会の方のお時間をいただきますので、質問がまったくないというのも失礼に当たりますので、一人1つくらい考えてきてください。

では「4、その他(1)各委員から」に移ります。委員から何かありますか。

(平島委員から文化協会の「第8回古賀市子ども美術展」と「第26回古賀市童謡まつり」の案内。安武委員から古賀市介護支援課の「新しい介護保険の取り組み説明会」の案内。)

松本議長：

他にないようでしたら、「その他(2)から(5)」まで、事務局からお願いします。

(事務局から「(2)社教連会報No.78号」、「(3)『一般社団法人全国社会教育委員連合の組織存続のための緊急提案について』」、「(4)平成27年度レクリエーションスポーツ体験会について」、「(5)『古賀市青少年育成市民会議の支援(賛助金)について(お願い)』」について説明。)

松本議長：

次回の開催日程は、地域情報交流会がありますので、平成28年3月8日火曜日19時から、場所は久保区公民館ということで、前半1時間は古賀東校区コミュニティ協議会と情報交流会を行いまして、後半1時間に社会教育委員の会議を行います。

他にないようでしたら以上で終わりたいと思います。

それでは終わりの言葉を加藤委員、お願いします。

加藤委員：

次回の会議は19時から久保区公民館となりますのでお間違えのないようにお願いします。

お疲れ様でした。